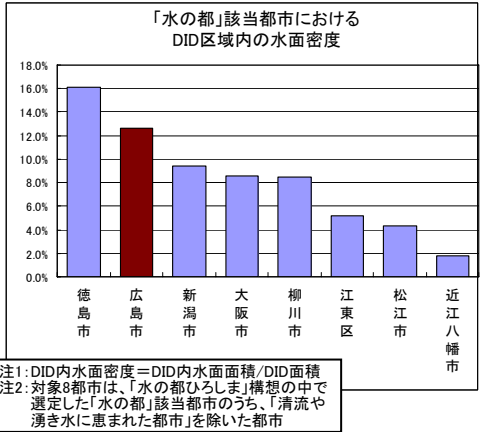


17.1 「水の都ひろしま」構想

水の都ひろしま

・6本の川が分派する下流デルタ域は、市街地に占める水面面積の比率が約13%と大。古くから水の都
 ・市街地に占める水面面積は、全国でも1,2位を争う有数の河川



出典: 国土交通省・広島県・広島市(平成15年)「水の都ひろしま」構想

「水の都ひろしま」構想

・「水の都ひろしま構想」は、国土交通省、広島県、広島市が合同で平成15年に策定
 ・三つの基本理念と基本方針に基づき水辺の整備を実施

～基本理念～

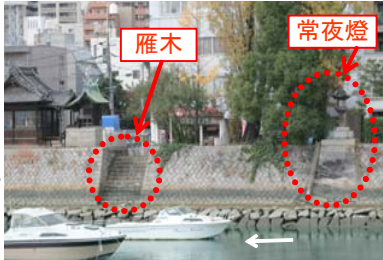
- ①水辺などにおける都市の楽しみ方の創出
- ②都市観光の主要な舞台づくり
- ③「水の都ひろしま」にふさわしい個性と魅力ある風景づくり



舟運が盛んだった往時を偲ばせる景観

・江山一覽図(1808年)に描かれている常夜灯や雁木は、現在でも市内派川に数多く存在する貴重な歴史的構造物となっている。
 なかでも京橋川の雁木群は近代土木遺産(土木学会)Aランクに登録

<雁木とは>
 瀬戸内海は潮の干満差が大きいので、かつて生活物資の運搬船などの船着場として利用されていた川の石積護岸の階段のこと



～基本方針～

- ☆つかう (市民による水辺の活用)
- ☆つくる (水辺空間整備とまちづくりの一体化)
- ☆つなぐ (水辺のネットワークと水の都の仕組みづくり)

17.2 つかう: 市民による水辺の活用

17.親水護岸・環境保全への取り組み

憩いの空間としての水辺の利用

河岸緑地のオープンカフェ(元安川)



街の元気につなげよう



水辺のコンサート

水辺の風物詩をつくり育てる



8月6日: 灯笼流し

水辺で学ぼう



水生生物による水質調査

17.3 つくる：水辺空間整備とまちづくりの一体化

17.親水護岸・環境保全への取り組み

水辺と街を一体的にデザインしよう



基町環境護岸(旧太田川)



泳げ遊べる水辺にしよう
干潟でのシジミ捕り(太田川放水路)



水辺の景観を美しくしよう

水辺のライトアップ(元安川)



水辺と街を一体的にデザインしよう

高潮堤防による親水護岸の整備

17.4 つなぐ：水辺のネットワークと水の都の仕組みづくり

17.親水護岸・環境保全への取り組み



水上バスの運行



水上交通ネットワークをつくろう



雁木タクシーの運航

(写真提供：CAQ)



雁木タクシー



歴史のある雁木



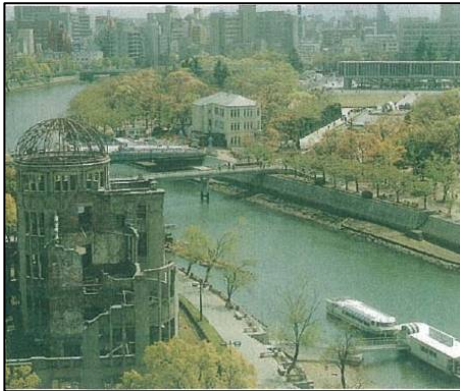
歴史のある雁木

17.5 元安川親水テラス

・「水の都ひろしま」構想

⇒快適な都市環境の創出を考慮した親水護岸として整備し、
「灯籠流し」等多くの市民が活用

・広大な河川空間の有効利用を図るため元安川に親水テラスを整備(平成8年度)



整備前



整備後



17.6 アンダーパス整備

〈現状〉

- 広島市中心部を流れる元安川や旧太田川沿川は、平和記念公園、原爆ドームの他にも広島城、縮景園等の観光名所が点在し、多くの観光客で賑わっている
- 河岸堤防は散策やジョギング、通勤などの日常生活の中で利用が多い



〈課題〉

- 水辺の様々な都市機能や観光施設等を相互に河岸でつなぐためのネットワーク整備が望まれる



〈対応〉

☆ 橋梁部分をアンダーパス ⇒ 周辺施設のネットワーク化



北大橋左岸の利用状況



相生橋左岸の整備状況



三篠橋左岸の利用状況



空鞆橋左岸の整備状況

17.7 基町環境護岸

広大な河川空間の有効利用を図るため、昭和54年～昭和58年に整備

- ・治水と親水性の他、景観も考慮した護岸整備
- ・特に景観に関しては先駆的事例
- ・(社)土木学会より、2003年度に「土木学会デザイン賞」の「特別賞」を受賞

昭和46年頃の様子



映画の撮影

昭和50年頃の様子



水辺のコンサート



映画の上映

17.8 市民団体による河川管理の社会実験

～愛される水辺の創出を目指して～

17.親水護岸・環境保全への取り組み

基町環境護岸(通称Pop'La通り)において、市民団体「ポップラ・ペアレンツ・クラブ」と管理協定を平成18年7月に締結。

市民団体が基町環境護岸のシンボルであるポプラの木の維持管理とその周辺の清掃を行い、その活動を通じて河川愛護の輪を広めるとともに「愛される水辺創出」のために官民が連携する活動を協議することとしている。



管理協定の範囲



市民団体による草刈り



水辺の結婚式



水辺での活動



ホテルベンチ

映画の撮影



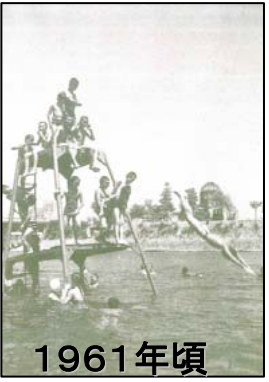
映画の上映

17.9 太田川の底質改善に関する取り組み

17.親水護岸・環境保全への取り組み

(太田川河川事務所・広島大学・中国電力グループによる共同研究)

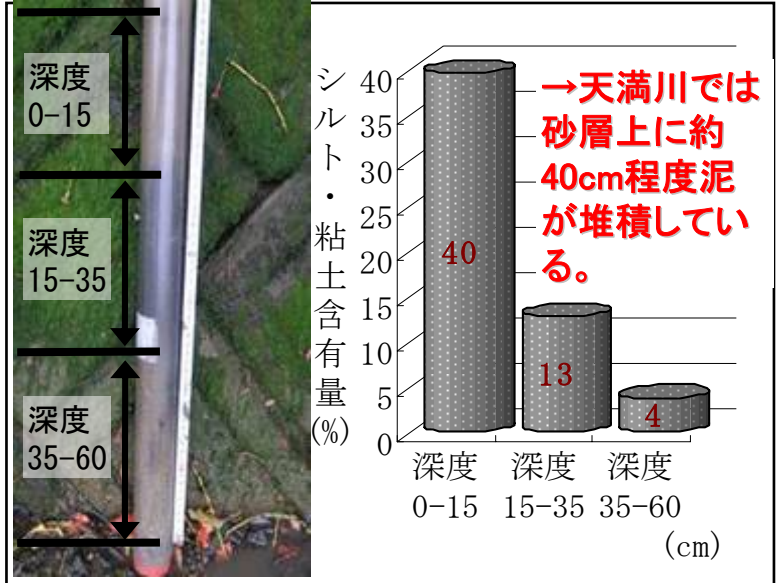
泳げ遊べる太田川を目指して



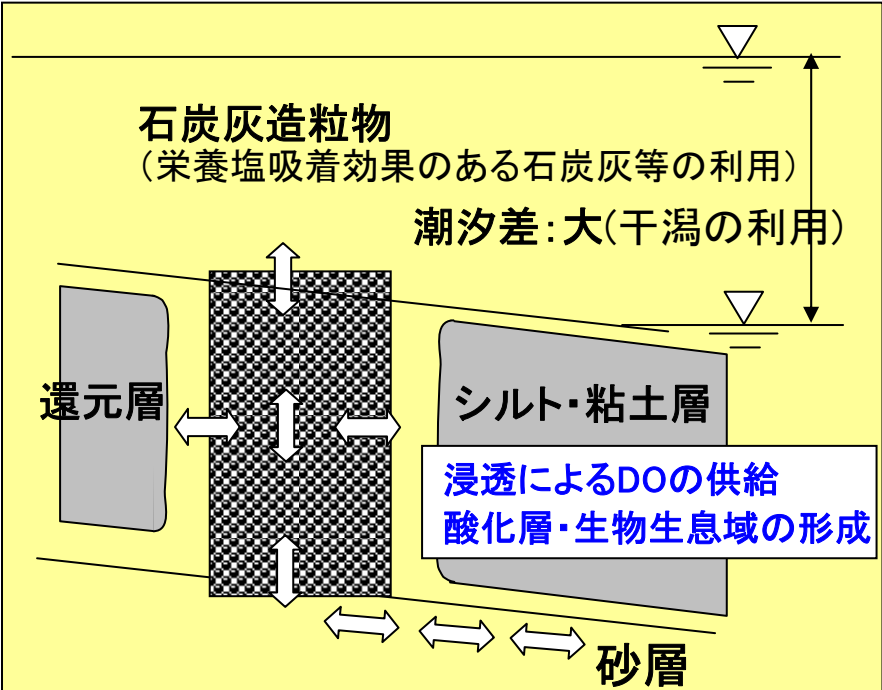
大腸菌と底質が課題

基町環境護岸周辺の水質

	H12	H13	H14	H15	H16
PH	7.3	7.6	7.5	7.4	7.4
BOD	1.2	0.9	0.8	0.8	0.9
COD	2.4	2.0	2.3	2.1	2.2



産学官連携による新たな堆積泥処理技術開発



<メカニズム>

- ①石炭灰を用いて作成した浸透柱を有機泥(シルト・粘土)層の下に堆積する砂層まで貫入
- ②潮汐の干満を利用して浸透柱内の水循環を生起
- ③水循環が起こることにより堆積泥内に酸素を供給

生物生息環境の向上を向上させることで、生物による堆積泥処理効果が期待できる。



17.10 広島城跡堀川浄化事業

17.親水護岸・環境保全への取り組み

導水量2万m³/日、3.5日で堀の水を入れ替える



内堀の魚の大量死(S51.11)



導水路整備状況(せせらぎ河川)

凡例	
開水路	——
管渠	-----
ポンプ	Ⓟ

「水の都ひろしま」の推進 規制緩和の社会実験 — 水辺のオープンカフェ

京橋川「水辺のオープンカフェ(独立店舗型)」
 (愛称『京橋R-Win(リバー・ウィン)』)
 平成17年10月20日(木)に開業

京橋川『水辺のオープンカフェ』の利用状況

1. 営業状況(10/20~12/19の計61日間)

全店舗利用者数
 20,464人 (335人/日)

※データ提供: 広島市

2. 実施後の歩行者通行量の変化

稲荷大橋西詰地点で、当該河岸緑地の南北の歩行者通行量をオープンカフェの開業前後で比較。

	平日 (7時~22時30分)	日曜日 (7時~22時30分)
開業前	185人 [6/30調査]	139人 [7/17調査]
	↓ 約7倍	↓ 約8倍
開業後	1,280人 [11/7調査]	1,073人 [11/20調査]

※データ提供: 広島市

店舗の概要

店舗名(出店者名)	特徴
オイスター・コンクラーベ 牡蠣亭	牡蠣生産者直営のお洒落な「オイスターカフェ」
café REGALO	誰もが気軽に立ち寄れる開放感溢れるカフェ
鉄板焼・しゃぶしゃぶ ZEN	水辺の別荘のような、上質で落ち着いた着きのある鉄板焼店
食べるすうぷカフェ ピース・ポット	食材にこだわった“食べるスープ”専門店



写真提供: 広島市



写真提供: 広島市